

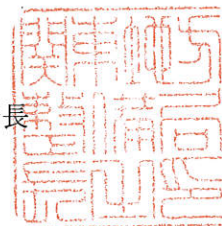


公共工事等における新技術活用システム  
事後評価結果通知書

国 関 整 施 企 第 215 号  
平成 30 年 3 月 20 日

株式会社恵信工業 様

国土交通省  
関東地方整備局長



申請のありました技術について、新技術活用評価会議における評価の結果を様式V-3のとおり通知します。

なお、評価結果については NETIS に掲載します。

記

- 1 技術名称 : 現場内完全無溶接による鉄筋籠組立工法(KS 工法)
- 2 NETIS 登録番号 : KT-090059-VE
- 3 評価結果 : 様式V-3のとおり
- 4 継続調査等の必要性について : 継続調査等を必要としない。

異議申し立てについて

上記について異議がある場合は、事後評価結果を通知した日の翌日から起算して10日以内に関東地方整備局長あてに異議理由を明示した書面を提出することにより、異議申し立てを行うことができます。

(提出先)

関東地方整備局 新技術活用評価会議事務局

(関東地方整備局 施工企画課 連絡先: 048-600-1347)

活用効果評価結果

通知版

関東地方整備局 新技術活用評価会議

平成29年度

NETIS情報	開発目標	経済性の向上、安全性の向上、品質の向上																						
	新技術登録番号	KT-090059-VE	区分	工法	有用な技術の位置づけ	活用促進技術																		
	分類	基礎工 場所打ち杭工 その他																						
	新技術名	現場内完全無溶接による鉄筋籠組立法(KS工法)																						
比較する従来技術(従来工法)	無溶接(添え筋)工法																							
	新技術の概要及び特徴	本技術は、現場内完全無溶接による鉄筋籠組立法(KS工法)である。従来は無溶接(添え筋)工法等で対応していた。本技術の活用により、無溶接金物、環状型フープ筋、専用組立治具を用いることで、品質の向上に加え、コスト縮減等多くのメリットが生じる。																						
活用効果評価	所見	<p>【優れていた所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄筋締結金物(商品名:ガチットフック)の使用により組立作業が容易となり、溶接作業手間も省けることから作業時間が短縮され、工程に優れる。</li> <li>補強筋付き補強棒の使用により、鉄筋籠建て起こしや吊り上げ時のねじれ変形が防止されることで配筋のバラツキが抑制され、品質・出来形に優れる。</li> <li>現場溶接が不要となり、感電事故や火傷事故の危険性が低下することから、安全性に優れる。</li> <li>無溶接金物(商品名:ガチットフック)、環状型フープ筋(商品名:ピタットフープ)の使用により、溶接・組立の熟練工が不要となり容易に施工できるため、施工性に優れる。</li> </ul> <p>【劣っていた所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特になし。</li> </ul>																						
	次回以降の評価に対する視点と評価の必要性	<p>調査表及び施工状況より技術特性が確認でき、継続調査の要件に該当しないため、情報種別記号を「-VE」とする。</p>																						
	留意事項	<p>工場での加工・組立の場合、運搬距離が経済性に影響を及ぼす場合がある。</p>																						
	活用効果調査表における改良点及び要望	<p>特になし。</p>																						
参考	対象工事	1	道路改良工事 (従来技術: 無溶接(添え筋)工法) 施工者希望型(契約後提案)																					
		2	橋梁下部工事 (従来技術: 無溶接(添え筋)工法) 施工者希望型(契約後提案)																					
		3	橋梁下部工事 (従来技術: 無溶接(添え筋)工法) 施工者希望型(契約後提案)																					
		4	橋梁下部工事 (従来技術: 無溶接(添え筋)工法) 施工者希望型(契約後提案)																					
		5	橋梁下部工事 (従来技術: 無溶接(添え筋)工法) 施工者希望型(契約後提案)																					
		6	橋梁下部工事 (従来技術: 無溶接(添え筋)工法) 施工者希望型(契約後提案)																					
		7	橋梁下部工事 (従来技術: 無溶接(添え筋)工法) 施工者希望型(契約後提案)																					
		8	橋梁下部工事 (従来技術: 無溶接(添え筋)工法) 施工者希望型(契約後提案)																					
		9	橋梁下部工事 (従来技術: 無溶接(添え筋)工法) 施工者希望型(契約後提案)																					
		10	橋梁下部工事 (従来技術: 無溶接(添え筋)工法) 施工者希望型(契約後提案)																					
		11	橋梁下部工事 (従来技術: 無溶接(添え筋)工法) 施工者希望型(契約後提案)																					
		12	橋梁下部工事 (従来技術: 無溶接(添え筋)工法) 施工者希望型(契約後提案)																					
		13	橋梁下部工事 (従来技術: 無溶接(添え筋)工法) 施工者希望型(契約後提案)																					
		14	橋梁下部工事 (従来技術: 無溶接(添え筋)工法) 施工者希望型(契約後提案)																					
		15	橋梁下部工事 (従来技術: 無溶接(添え筋)工法) 施工者希望型(契約後提案)																					
		16	道路改良工事 (従来技術: 無溶接(添え筋)工法) 施工者希望型(契約後提案)																					
		17	橋梁下部工事 (従来技術: 無溶接(添え筋)工法) 施工者希望型(契約後提案)																					
		18	道路改良工事 (従来技術: 無溶接(添え筋)工法) 施工者希望型(契約後提案)																					
		19	橋梁下部工事 (従来技術: 無溶接(添え筋)工法) 施工者希望型(契約後提案)																					
		20	橋梁下部工事 (従来技術: 無溶接(添え筋)工法) 施工者希望型(契約後提案)																					
	活用効果調査結果	ケース番号																						
項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	項目の平均(点)	従来技術(従来工法)(点)	
施工時評価		経済性	C	D	B	C	C	C	B	C	B	B	C	D	B	B	D	B	C	B	B	C	C	3
		工程	B	A	A	B	C	C	B	B	B	B	B	C	A	B	A	B	A	B	B	B	B	3
		品質・出来形	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	B	A	B	A	A	A	B	B	3
		安全性	B	C	B	B	B	A	B	A	B	B	B	C	B	B	A	B	A	B	B	A	B	3
		施工性	A	A	A	B	B	A	B	A	B	B	B	C	A	B	A	B	A	A	B	A	A	3
		環境	B	C	B	B	C	C	C	C	C	C	C	C	C	B	B	C	A	B	B	C	C	3
その他																								
総合評価点		B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	
今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいか	今後是非活用したい																							
	活用を検討したい																							
	場合によっては活用することもある																							
	技術の改良を強く望む																							
各項目における判定																								
A 従来技術より大幅に優れる																								
B 従来技術より優れる																								
C 従来技術と同等																								
D 従来技術より劣る																								
H26.4以降の活用効果調査表19件で評価(判定不可1件は除く)																								
追跡調査の必要性	不要																							
追跡調査	-																							

